

# 宮津市廃棄物減量等推進審議会（第1回全体会） 会議記録

日 時：令和5年7月7日(金) 午後2時00分から4時00分まで

場 所：宮津市福祉・教育総合プラザ4階 第4コミュニティルーム

出席者 ※敬称略

○委員（一色立雄、粉川正太郎、黒岡芳子、中西幸子、笠井裕代、谷口政史、小谷美穂、山川 肇（会長））

○オブザーバー（岩崎靖之、片山禎彦、居村 真）

○事務局（山根部長、廣瀬課長、大和係長、井上主査）

欠席者 ※敬称略

○委員（矢野順子、古橋由季、小畑晴美、松田高正、幾世健史、小西均、谷口知弘）

## 1 開会

## 2 あいさつ

## 3 委員委嘱

一色委員及び粉川委員を選出団体の役員改選に伴い委嘱

## 4 副会長及びし尿手数料検討部会長の選出

谷口知弘委員を副会長及びし尿手数料検討部会長に選出

## 5 報告

### （1）令和4年度の実績について【資料1】

資料に基づき事務局より説明。

## 6 議 事

### （1）諮問事項の確認【資料2】及び令和5年度審議会開催予定【資料3】について

資料に基づき事務局より説明。

### （2）宮津市プラスチック等資源循環の促進等に関する条例に基づく取組について【資料4】

- ・宮津市資源循環の促進等に関する基本的な指針(第1次)の策定について【資料5】
- ・令和4年度宮津市ごみ減量化及び資源化調査について【資料6】
- ・令和5年度ごみ減量化に係る実証実験等の取組について【資料7】

資料に基づき一括して事務局より説明。

## 【主な意見】

### 委員

- ・アンケートの回収率が半分以下のため、正確な分析が難しいのではないかと。
- ・アンケートの中で収集車が分別された資源ごみを一緒に持って帰り、分別する意味がないという意見があった。自分の地域ではしっかりと収集してもらっているが、そのあたりも検証し改善を検討してはどうか。

### 事務局

- ・回収率が低いことについてはアンケート実施時期、項目数など反省点があった。
- ・資源ごみ混載については効率的な収集のため混載する必要があるが、処理施設内でしっかり分けて処理している。

### 委員

- ・高齢者にとっては分別が難しいこともあるので、分別方法が変わった際にはしっかりと説明会を行うべき。
- ・アンケートの回収率が低い。
- ・環境学習は本当に大事なところでしっかりと取り組んでほしい。

### 委員

- ・子供を対象とした環境学習は重要であり、今年子供を対象にした事業をやっていこうと考えている。
- ・事業所ではコピー用紙などの紙ごみが大量に出るが、それらはたいてい燃やすごみとして捨てられていると思う。これらを分別し資源として引き渡すようにすればごみの削減になるのでは。

### 委員

- ・市内のスーパーのお肉の容器包装が必要以上に大きいと感じる。そういった部分も削減を進めるべき。

### 委員

- ・昨年の会議で条例の内容を検討する中で、これは基本指針の中でうたっていくべきとした意見も多数あった。議論の機会が少ないので、内容を早めにつくってしっかりと示してほしい。
- ・昨今、物価や光熱水費が値上がりしていることから、経費削減のため裏紙の使用や以前なら廃棄していた食材部位の有効活用等に取り組んでいる。ごみの減量化ではなく、経費節減という切り口からごみが減ったと思う。

## 委員

- ・アンケートで様々な課題が提示されているが、これをどう解決していくかというところがまさに基本指針になると思うので、これに沿って進めて行ってはどうか。
- ・先日、クリーンセンターを初めて見学したが、実際に処理工程を見ることで様々な分別ルールの意味などが理解でき、自分自身とても勉強になった。子供だけでなく、ごみを出す大人もしっかりと勉強しなければならない。

## 委員

- ・ごみの問題に困っている高齢者は多いので、子供だけでなく高齢者に向けた取り組みも必要。

## オブザーバー

- ・宮津市のSDGS 未来都市の選定やプラスチックの新条例の制定といった動きと連携していきたいという思いもあり、今年の9月に環境イベントを実施したいと考えている。

## オブザーバー

- ・各小学校の4年生が環境学習としてクリーンセンターの施設見学を行っているが処理の現場としては大人がしっかりと環境学習をしてほしい。
- ・分別状況は宮津市が最も悪く、特に容器包装プラスチックに惣菜の売れ残りやおむつ、ペットの糞などが混入している状況。住民にも事業所にもしっかりと分別の徹底をお願いしたい。

## オブザーバー

- ・環境教育については連携協定に基づき、子供だけでなく大人も楽しめるような取組を連携して行っていきたい。
- ・分別用ごみ箱や啓発看板の設置、情報発信等についても事務局と相談しながら支援をしていきたい。
- ・映画でごみを減量に走ったデロリアンという車をアメリカのユニバーサルから譲り受け、実際に衣類を燃料として走らせる取組を行った。17日の阿蘇海フェスタでも、資源循環社会の象徴として展示するのでぜひ写真を撮っていただきたい。

## 会長

- ・ターゲットによって環境学習の内容は変わるのできちんと内容を考えていく必要がある。
- ・アンケートについては未回収事業所を対象に聞き取りを行い補完することも一つの方法かと思う。
- ・物価高騰等の状況下で、使用量削減には取り組みやすい機会。コスト削減に繋がるような事業系ごみの削減に焦点をあてて取り組むことは大きな課題。

- ・ 昨年の議論で指針に盛り込むこととしていた意見はしっかりと抽出・整理し、早めに委員に示してほしい。

### (3) 一般廃棄物処理手数料（し尿）の見直しについて【資料8】

資料に基づき事務局より説明

#### 【主な意見】

##### 委員

- ・ 自宅を下水接続した。接続前は自分の年齢のこともあり躊躇していたが、接続してみると快適。上下水道料金も思ったほど上がっていない。
- ・ 処理区域の地図を見ても、少し入り組んだ地域では接続できず、1/3程度が汲み取りせざるを得ない状況。個人的意見としては汲み取り以外の2/3の方で汲み取りのマイナスを補填し、汲み取り料金は上げなくてもよいと考えている。
- ・ 下水道料金の値上げは一定仕方がない
- ・ 汲み取りをされている世帯は高齢者が多いのでそこに負担がかからないような料金改定の仕方をすべき。

##### 委員

- ・ 委員を交代したばかりで、事務局の説明が前任の委員にとって納得いく考え方になっているかどうかわからない。
- ・ 一定値上げも仕方がないが、本当に生活が苦しいかたもあり、判断が難しい。

##### 委員

- ・ 58%アップはずいぶん高いが、これまで値上げを行わず引っ張ってきたためこのアップ率となったのではという感じもする。一定の値上げはやむを得ないのでは。

##### 委員

- ・ 自分の住む地域で大きな蔵を壊されるところがあり、浄化槽をすすめたが高齢のため整備しないという話だった。
- ・ 汲み取りを続けるため一定の料金値上げは仕方がないのでは。

##### 委員

- ・ 生活雑排水の処理を考えると雑排水を流さない下水や浄化槽が望ましい。
- ・ 下水道区域外で浄化槽を入れられない事情がある方もあり難しいが、一人あたりの処理料金が汲み取り、下水、浄化槽でおしなべて平等な金額になる程度の値上げはやむを得ないと思う。

## 委員

- ・昨年度は汲み取りと浄化槽と下水道の単位あたりの処理コストがわからないと比較できないという議論だったと思うが、今回は下水道の資料も示していただき明確になった。
- ・下水道の収益的収支にも3億9千万円を一般会計から繰り入れており、完全に使用料収入だけで経営しているわけではないという点では汲み取りと同じである。
- ・汚水処理はインフラであり、使用料収入だけでなく一定は税金で維持すべきだが、負担割合をどうするか考えなければならない。
- ・下水処理区域内外で差をつけるのか、経済的な効率性だけで見るのか、福祉的な観点を加えるのか。
- ・審議会では方向感なりを議論し、具体的な負担割合を決定するわけではないと理解しているがそれでよいか。

## 事務局

- ・答申で具体的な負担割合を示していただくことは考えていない。考え方を審議いただき、アップ率は皆さんの意見を踏まえ行政が責任をもって判断する。

## 委員

- ・汲み取りから浄化槽転換はお年寄りの方は難しい状況がある。ただしお年寄りの中にも浄化槽を整備している方もあり、平等というところで58%アップは厳しいが、徐々に上げていってはどうか

## オブザーバー

- ・保健所としては雑排水を処理した上で放流いただきたいが一律に汲み取り料金を上げて水洗化に誘導するのは乱暴なため、汲み取り世帯の方を浄化槽に持っていくインセンティブとか、精神的な快適性のアピールとそういったことが必要ではないか。
- ・一定料金の公平性を保っていくことは致し方ない。

## オブザーバー

- ・一定の公平性を保った費用負担は必要と考える。

## 会長

- ・環境保全の観点から生活排水の処理まで含める方向にどうやって持っていくかという話と、いろいろな事情がある中でし尿処理をしている世帯の方に費用負担してもらうことができるのかという話があった。
- ・汲み取りと水洗化した世帯ではサービス水準が違ふと思う。サービス水準が違ふ中で費用が同じというのはおかしいという考え方もあるので、そのあたりも丁寧な議論が必要。

- ・詳細は部会で議論いただくが具体的な金額を決めるという話ではなく、負担割合について何を基準としてどう考えるかといった方向性を出していただきたい。

#### **事務局**

- ・谷口部会長からも直接に意見をいただいているのでそれも踏まえ次回の部会につなげていきたい。

#### (4) その他

### 7 閉 会